

議会改革推進委員会 会議録

開催日	令和4年3月30日(火)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前10時57分
開催場所	全員協議会室
出席委員等	[委員長] 岡村 芳樹 [副委員長] 中村 孝治 [委員] 石井 秀明, 木崎 俊行, 山本 英司, 敷根 文裕, 五十嵐 智美, 藤崎 良次, 久野 妙子 [オブザーバー] 議長 平野 裕子
欠席委員等	なし
委員外委員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 向後 昌弘 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明, 秋葉 昌輝
協議事項	タブレット端末の活用・議会のペーパーレス化について

【決定事項】

(1) タブレット端末の導入目的について

導入目的は、①ペーパーレス会議システムの活用、②スケジュール管理、③議員と事務局間での情報伝達、④インターネットを活用した調査・研究、⑤オンラインでの視察・研修とする。なお、オンラインでの「委員会」は、各議員のタブレット操作の習熟度等を勘案し導入後に検討する。

(2) 次回開催日と協議内容について

次回の委員会開催日は4月13日(水)とし、佐倉市議会ICT化方針(案)について協議する。各会派内での意見集約をお願いする。

【主な意見】

(1) 「タブレット活用に関する確認シート」集計表に基づく導入目的についての主な意見

- 2社のデモを受けたが、委員の共通の認識のため、機能の比較表を作っていただきたい。
- オンライン会議や視察はどのような場合に行うかなどの細かい取り決めが必要ではないか。委員会は対面が基本なので、例えば緊急事態のときなど、規約等で規定していくことが必要だと考えている。
⇒今後必要に応じて整理しながら進めていく。

(2) タブレット導入方針(案)についての主な意見

(事務局説明)

タブレットの購入に当たっては、予備機併せて34台を想定している。今後、Wi-Fiモデルかセルラーモデルを選択する必要がある。ランニングコストを比較した場合、Wi-Fiモデルが100万程度、セルラーモデルが300万程度である。タブレット導入による印刷費や人件費等の削減効果は100万程度を見込んでいるが、セルラーモデルを選択した場合、議会費の削減も視野に入れる必要がある。

また、Wi-Fi モデルを選択した場合、公務として自宅で使用することも考えられる。その場合、政務活動費でのWi-Fi 通信費の支払いについては、今以上に市民への説明が難しくなることが懸念されるため、政務活動費の按分による支出ということも含めて検討する必要がある。

セルラーモデルは全額公費負担となるので政務活動費の問題とはならないが、事業のスクラップアンドビルドは必要となる。

この点を踏まえ、各会派で検討をお願いしたい。

- セルラーモデルを選択した場合、自宅でのWi-Fi の費用に政務活動費を充てる必要がなくなるので、政務活動費を一律で削って、Wifi モデルとセルラーモデルのランニングコストの差に充てるのはどうか。
- Wi-Fi 環境がない場所でタブレットを活用できないと困るので、政務活動費でポケットWi-Fi 等を契約すれば、今の運用のままでもいいのではないか。

(3) その他の意見（交付金の活用について）

- コロナ交付金を使うことはどうなのか。コロナ交付金は市民のためのコロナ対策が大前提であるから、市民のために議員が色々な用途で活用するとは言え、交付金ではなく一般財源でという考え方も必要ではないか。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 岡村 芳樹